



広報

ひがしよどがわ

編集・発行 東淀川区役所総務課（広報）〒533-8501 大阪市東淀川区豊新2-1-4 ☎4809-9816 FAX6327-1970
東淀川区ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/higashiyodogawa/>
■区の面積13.25km² ■区の人口177,117人（男87,173人・女89,944人） ■区の世帯数93,356世帯（平成24年6月1日現在推計）

7 JUL 2012 月号 平成24年7月 NO.194

夏を環境にやさしく 快適に過ごそう

1 屋上の緑化

屋上緑化は、植物の葉でおおうことにより、夏の強い日差しを遮ることができるので断熱効果があります。階下に伝わる熱が減ることで、**屋内の冷房効率上がり、エアコンの使用量を減らすことができます。**また、ベランダやバルコニーでのガーデニングなどは、屋上緑化に比べて簡単に取り組むことができます。

2 打ち水

昼間に強い日差しで熱せられた建物や道路は、夜になっても熱を持っています。**夕方、家の周りやベランダ・バルコニーに打ち水をして昼間の熱気を冷ましましょう。**また、草花への水やりと一緒に打ち水をすると、涼しさが増します。地面だけでなく、屋上やベランダ、壁でも効果があります！
※打ち水は、お風呂の残り湯や雨水をためて使うと、経済的で環境にもやさしいです。

3 緑のカーテン

へちまやゴーヤ、朝顔などのつる性植物で窓や壁面をカーテンのようにおおい、夏の強い日差しを遮ることで、室内の温度の上昇を防ぎます。葉の気孔から水分を蒸散することにより、周りの空気から熱をうばうため、体感温度も下がると言われています。**夏は西日で暑くなるので、西側の窓を「緑のカーテン」でおおうととっても涼しくなります！**また、すだれやブラインドと一緒につけると効果的です。



4 風の通り道をつくる

部屋の一面だけでなく、反対側の窓も開け、**風の通り道を確保することで風通しがよくなります。**また、効果的に冷房を行うためには、**扇風機を使い空気を循環させる方法**もあります。

家庭でできる、暑い夏を少しでも涼しく過ごせて省エネ、そんな方法を紹介しました。また、私たちが住むまちの**ヒートアイランド現象**(※)を緩和することもできます。現在、地球温暖化の影響で、日本の平均気温は100年で約1℃上昇しています。しかし、大阪の平均気温は、100年で約2℃上昇しており、その1℃の差が、ヒートアイランド現象の影響とされています。ひとりひとりが、できることから始めてみましょう。

※ヒートアイランド現象
都市部では、地面の大部分が熱をためこみやすいアスファルトやコンクリートで覆われており、また、自動車などから排出される熱の量も多いことから、気温がまわりの地域に比べて高くなる状況のこと。



**平成22年度比15%以上
ご家庭でも節電にご協力を！**

この夏の電力需給状況は昨夏以上の厳しさが見込まれます。電力不足が深刻化し、万一停電が起きた場合、市民の皆さんの生活に大きな支障が生じるおそれがあります。節電にご協力をお願いします。



問合せ環境局環境施策課 ☎6630-3216

広告掲載枠